

WYS交換留学生OG・OBからのひとこと(1)

留学期間中の WYS Student Report 及び留学後の感想文をもとにしています。

上田 かれん 広島県立祇園北高等学校3年生時に留学

アメリカ

2016年度WYS交換留学生
ミシシッピ州Herunado High School留学

●授業風景など日本との違いについて (10月期のレポートより)
みんな発言を沢山して、とにかく個性的。たまに映画を見て終わることもあります。授業では、“どう思うか”が一番大事で、答えのあたりはずれはあまりありません。宿題は英語でエッセイが一番大変。キャラクターや作者のメッセージを分析してそれと証明するのに引用が必要。エッセイも発言もいかにユニークで自分らしさが出ているかを見られます。先生と生徒の距離が近く、そこが結構気に入っています。学校はとにかく自由。メイク、ケータイ、染髪など何でもあり、日本の平和さを楽しみ感じます。



●今までの留学生生活を振り返って感じることは? (1月期のレポートより)
7カ月が本当にあっという間に過ぎてしまいました。もう3か月しかないと思うと悲しいです。本当に帰りたいです。これまで、英語力が伸びず悩んだり、恥をかいたり、アメリカ人の友達が出来ず悩んだり、文化の違いに戸惑ったり色々ありますが、全て日本では絶対に経験出来ないすごく貴重な体験をしているのだなと思います。ミシシッピ州というアメリカ南部の誰も知らないような田舎に留学先が決まって、最初は不安があったけど、テレビやメディアで見るとは違うアメリカではなく“本当のアメリカ”をここで体験出来ているなと思います。アメリカの有名じゃない田舎に行って10ヶ月過ごすことって、結構珍しく、特別なことだと思います! 交換留学して良かった、アメリカに来て良かったと思えるよう、日々勉強し、残りの少ない日々を全力で過ごしていきます。。本当に帰りたい!



持ってきて良かったもの
ズボン、靴、サンダル、漢方、葛根湯などの風邪薬、歯ブラシ(アメリカのブラシはとても大きい)

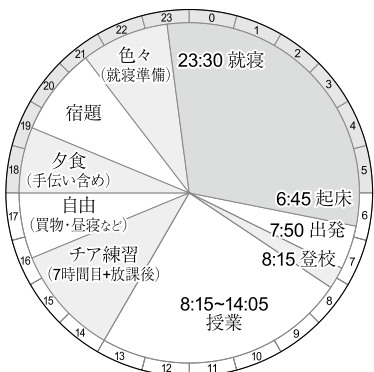
末松 海 九州国際大学付属高等学校2年時に留学

アメリカ

2016年度WYS交換留学生
アリゾナ州American Leadership Academy留学

●前期を通して学んだこと (12月期のレポートより)
4か月間、新しい事ばかりであっという間でした。。やっとなりに慣れてきました。但し、慣れてきたと言ってもまだ理解するのは復習がかかせないし、大変です。リスニングは確実に良くなりましたが、ライティングはまだです。来学期からはTOEFLも受験する予定なので、もっと英語力をみがいていきたいと思っています。

●クリスマスはどのように過ごしましたか (12月期のレポートより)
24日 (EVE) は、ママの両親のお家でクリスマスパーティー。ローストハムとポテトスープを食べて、(伝統らしいです)皆でプレゼント交換をしました。何人ぐらいいいたかな。。20人近く集まったので、家の中はパンパンでした(笑)! あっ、シュガークッキーも作りました! 25日 (Christmas Day/クリスマス本番) は、お昼から集まって、ビスケット&グレイビー、ワッフルとクランベリージャム、ベーコンとソーセージを食べました。そして、またプレゼント交換!! 7人兄妹の内6人が集まりました。(1人は結婚してパナマに住んでいるので、free time参加でした。) 超楽しかったです!!



●1日のスケジュール



岩澤 夏織 湘南白百合学園高等学校2年生時に留学

アメリカ

2017年度WYS交換留学生
オレゴン州Beaverton High School留学

●今学期の時間割 (8月期のレポートより)

Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1		World History	Jazz Band			
2		American Lit	Japanese Teacher Assistant	月曜	火曜	月曜
3	Lunch	Social Study10	Net Game	月曜と同じ	火曜と同じ	月曜と同じ
4		Painting	Beaver Lodge			

*来学期取得予定: Theater, World History, (Math)
*必修科目: American Lit., US History(Social History)

●授業風景など日本との違いについて (10月期のレポートより)
授業の形式は、日本と違って生徒が発言する場が多く、全ての内容に対して自分なりに疑問を見つけ出して、それを小グループで話すということが一般的だと思います。時には、もはや全てが疑問で何を質問すればいいのかが分からず苦労しています。宿題は、時間をかけて一生懸命やった割には容赦なく成績を付けてくる先生もいます。学校に慣れてきた分、自分に物足りなさを感じることもあります。

●ハロウィンについて (10月期のレポートより)
今回、初めて本場のハロウィンを体験しました。日本では考えられないと思いますが、学校の先生や病院の受付係の人まで仮装し、ハロウィンを楽しみます。私も、コスチュームを着て友達と近所をまわり、trick or treatに行きました。私の想像では、知っているひとの家にしかお菓子をもらいにいけないと思っていましたが、どの家に行っても大丈夫だと知り、本当に驚きました。お互いが知りあいでなくても、"trick or treat"一言で、笑顔でキャンディーを渡してくれました。とてもフレンドリーで優しいなと思いました。日本では絶対にできない経験だと思うので良い経験になりました。

●日本から持ってきたものについて (11月期のレポートより)
持ってきて良かったものは、日記帳。嬉しいことも、悲しいことも全て日々の記録として残せるので、留学が終わっても振り返ることができます。文章に書き出すと、嫌なことも少し軽減される気がします。必要なものは、ワンピース(スカート類)。必要ないわけではないが、正直着る機会がありません。ほとんどが、ズボンでの生活になります。部屋着用に、やわらか目のズボンなどがあると便利です。

前田 康喜 東海高等学校2年時に留学

アメリカ

2017年度WYS交換留学生
テキサス州Brennan High School留学

●留学生生活を振り返って (3月期の報告より)
まず、僕はアメリカに来て本当によかったと思っています。アメリカに来る前は、あまり行きたいと思わなかったし、海外に一度も行ったことがなかったこともあり、不安で仕方がなかったです。実際のところ、最初の頃はとても大変でした。何もかもが初めてで、知らないこともたくさんありました。ただ授業のほうは、それほど難しいとは感じませんでした。アメリカの授業は選択制で、自分にとって難しいと思ったら変更することができるし、内容自体は、日本のほうが進んでいることが多いこともあり、慣れてくれば高得点を取ることもできました。また、先生や生徒も、聞けば何でも教えてくれるので、とても助かりました。学校生活で大変だったのは、友達づくりです。知り合いが一人もいないので、簡単ではありませんでした。しかし、留学生ということに、皆興味を持って話しかけてくる生徒達もいるので、それをきっかけに友達を作っていました。また、僕はサッカー部に所属していたので、そこで多くの友達を作ることができました。そして、今ではサッカー部の友達とゲームをしたり、遊園地に行ったりするようになりました。サッカーは他校との試合も多くあり、勝ったら勝ったで、皆で一緒に喜びあって騒いだりもしています。僕が思うに、留学生生活は大変なのは最初だけで、あとは普通の高校生活となんら変わりがないということです。部活はシーズン中しかありませんが、試合も多くとても楽しいです。アメリカはハロウィンやクリスマスなどのイベントも多く、とても面白いです。友達とも色んな場所にいたりして、アメリカに来て本当によかったと思っています。最後に、これから留学する人に向けて

留学生生活は、行く前は、不安でいっぱいかもしれないですが、また行っても最初の頃は大変なことが多いかもしれませんが、来てみれば楽しいこともたくさんあります。生活や文化、学校にも、時間とともに慣れて来て、楽しいこともどんどん増えていきます。だから不安がらずに、期待して留学にのぞめば大丈夫です!!





葛尾 有希 兵庫県立西宮高等学校2年時に留学

ニュージーランド

2016年度4月期WYS交換留学生
ニュージーランド Cullinae College留学

●今までの留学生活(前期)を振り返って(10月期のレポートより)
4月28日からもう半年が経ちました。時間が経つのが早いと感じます。残り、あと4ヵ月ちょっとと考えると、本当に寂しいです。今まで、もう少しあてがってあげたかな。と思うこともあったので、この留学生活が終わった後に悔いが残らないよう、全力で3月まで頑張りたいです。高校2年生のほぼ丸々1年間NZに滞在して、日本の学校の友達や修学旅行に行ったり、行事を楽しそうにしているのを聞いたら、留学に来るべきじゃなかったのかな。。。と思ったりしたこともありましたが、Cullinae Collegeでかけがえのない友達に出会えました。また、高校生うちに留学をするなんて、全員が出来るわけではないので、本当にたくさんの人に対して感謝の気持ちでいっぱいです。今では、留学に来て、本当に良かったと思っています!!

●履修科目で取って良かった科目について(11月期のレポートより)
ちなみに取って良かった科目はありませんが、良かった科目は下記の通りです。
Kapa haka Maori Performing Arts. 日本では絶対に受けられない科目。NZの先住民マオリの文化を知ることが出来ることも、マオリ語という全く知らない言語の歌を覚え、振付も覚えていくことにすごく達成感を感じました。この科目を取っていたおかげで、学校内外の行事でパフォーマンスをする機会が数回あり、私自身、楽しみに踊ることが出来ました。

English Englishでは、1つのテーマについて、スピーチをしたり、映画や本についてのエッセイやレポートを書いたりもしました。スピーチをしたおかげで会話力を上げることができ、エッセイやレポートを書いたおかげで、文の構成力を上げることができたと思います。

Sports science Sports scienceは、チームプレイが多めで、友達と仲良くなりやすかったです。[Poi Toa] や [Ti Ururu] などのマオリの伝統スポーツも体験することが出来たので取って良かった科目だなと思います。

山中 美季 聖霊高等学校2年時に留学

ニュージーランド

2016年度4月期WYS交換留学生
ニュージーランド Feilding High School留学

●今学期の時間割と授業の様子について(4月期のレポートより)

Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
8:40 ~ 9:00		←----- Group Time ----->				
9:00 ~ 10:00		Hospitality	ESOL	English	Math	Math
10:00 ~ 11:00		Math	Japanese	Music	ESOL	English
11:00 ~ 11:20		←----- Interval ----->				
11:20 ~ 12:20		English	Hospitality	Japanese	Music	ESOL
12:20 ~ 13:15		ESOL	Math	Hospitality	Japanese	Music
13:15 ~ 14:00		←----- Lunch time ----->				
14:00 ~ 14:20		←----- Reading ----->				
14:20 ~ 15:15		Music	English	Math	Hospitality	Japanese

*生徒数: 1400名 *学年: 9学年-13学年



日本みたいでいつも同じクラスのメンバーと授業を受けてはいないので、たくさんの人と話せて、校内で会った時にいつも名前を読んで話しかけてくれます。先生もたくさん話しかけてくれて困っていると助けてくれます。授業中は、すごく賑やかで、授業がすごく楽しいです。

●滞在地域について(5月期のレポートより)
Feilding (フィールディング) は、パーマストンノースにバスや車で20分で行ける所があるので、すぐに大きい町へ行けるのでとても住みやすい町です。また、普段の買い物とか、自分が少し出かけたい時に遊びに行ける所が家の近くにあるので、休日は充実しています。毎週金曜日は家の近くで、小さい市場が開かれています。今日は雨がよ降っていて、毎日かさを持ち歩いていました。昼間に太陽が出ていても風が強いので、街の人のことはあまりよく分かりませんが、ESOLのクラスには中国やネパール、フィリピンの子がいます。人口は28,000人で、高校には1400人の生徒が通っています。



三浦 凌平 海星高等学校1年時に留学

ニュージーランド

2018年度WYS交換留学生
ニュージーランド Tararua Colelge留学

●今学期の時間割について(2月期のレポートより)

Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
9:00 ~		MENTOR	MENTOR	MENTOR	MENTOR	MENTOR
9:30 ~		SPR1	SCSP1	STUDY5	HOS101	MAT101
10:20 ~		ENGI01	SPR1	SCSP1	STUDY5	HOS101
Interval						
11:40 ~		MAT101	ENGI01	SPR1	SCSP1	STUDY5
12:30 ~		HOS101	MAT101	ENGI01	SPR1	SCSP1
Lunch						
14:00 ~		STUDY5	HOS101	MAT101	ENGI01	SHEAB

*SPR: スポーツクリエーション *SCSP: サイエンススポーツ
*STUDY5: フリー *SHEAB: 全校集会等など総合学習

●留学生活の始まりについて(3月期の報告より)

僕は交換留学生として2月からタルアラカレッジに入学して、今、入学して1ヵ月が経ちました。yearは11に入り、取った科目はスポーツクリエーション、ホスピタリティ、数学、物理、英語、フリー (ESOLが無いのでその代わり) を取りました。正直授業はそんなに難しくなく数学も内容はとても簡単です。内容だけでみれば小学生でも解けます。ただ、数学は文章問題が基本なので、文を読解するのがとても難しいです。部活にはクリケット部に入りました。日本では中々できないと思い、クリケット部に決めました。何をどうすればいいのかも分かりませんでした。みんな優しく教えてくれて、今ではクリケット部で良かったと思っています。また、練習は週に一回、1時間半程度です。毎週土曜日に練習試合があります。友達作りに関して言うと、留学1ヶ月目にしては本当にたくさんの友達が出来たと思います。タルアラカレッジは留学生が本当に少ないです。自分を入れても3人だけですが、先生も生徒も留学生を特別扱いしてくれません。自分から発信しないと、友達の会話には参加できないし、宿題の仕方わからなくても、それを言わないと普通の生徒と同じように点数を引かれてしまいます。

なので、自分から何かしないと、本当に何も始まりませんし、出来ません。ただやっぱりはじめは恥ずかしさや、自信のなさがある、それが出来ないこともありましたが、今でもたまにありますが、それは必ずあとで後悔することになります。まだ、留学して1ヶ月、この後悔が少しでも減らせるように、無くせるように、努力したいと思っています。



家田 桜希 女子学院高校2年時に留学

ニュージーランド

2018年度NZスカラシッププログラム
ニュージーランド Freyberg High School留学

●留学先の高校や授業について(2月期のレポートより)

私の学校の生徒数は約1200人、教員数は約85名、学年数は9学年から13学年、学期制度は4学期制、9時に始まり、午後3時に終わりますが、木曜日のみ午後2時10分に終了します。情報技術と芸術に力を入れている高校です。授業での発言は求められますが、そこまでありません。全ての授業で人数が10~15人と少人数なので、分からないことはすぐ先生に聞くことができます。私ではありませんが、生徒が多少ふざけても、一緒に笑ったりするなど日本より寛容です。(勿論やりすぎると怒られます!) まだ始まったばかりですが、難しいと思っている教科はMathとMusic。Mathは、内容は簡単ですが、先生の話しが早く、聞き取りづらいです。Musicは、まだ詳細は分からないものの、EnglishでのWritingと編曲課題があります。

●滞在地域について(2月期のレポートより)

Palmerston Northは、人口の約三分の一が学生で占められている学園都市です。郊外にMassey 大学と日本の大学であるIPUのキャンパス、市内には多数の小学校、中学校、高校があります。また、市内にはThe Squareという広い公園を中心に基盤の目ように整備されています。The Square以外にも広い公園がたくさんあって、歩道に芝生や木が植わっているものがほとんどだったり緑豊かです。電車は、他都市と結ぶものもなく、その代わりにバスが整備されています。私は、学校からの帰りや市の中心地に行く際よく利用しています。



WYS交換留学生OG・OBからのひとこと(2)

留学期間中の WYS Student Report 及び留学後の感想文をもとにしています。



五十嵐 優衣 九州国際大学附属高等学校2年時に留学

ベルギー

2014年度WYS交換留学生
ベルギーOnze Lieve Vrouw College留学

●今学期の時間割

Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
8:30 ~ 9:10		GOD	AAR	DUITS	NED	GOD
9:20 ~ 10:00		MO(音楽)	WIS	BIO	FYS	WIS
10:30 ~ 11:20		WIS(数学)	ENGELS	GEDRAG	LO	NEO
11:30 ~ 12:10		FRA	〃	GES	〃	〃
13:40 ~ 14:20		WISI	FRA		NED	CULT
14:40 ~ 15:10		CHEM	〃		GEDRAG	GES
15:20 ~ 16:00		PO(美術)	GEDRAG		CULT	FRA

●新しく始めたこと・クラスについて(10月~11月期のレポートより)

学校で月曜日の16:20~18:00、放課後約2時間、オランダ語のextra lessonを1対1でして下さるようになりました。すごく有り難いし、役立っています。日本ではほとんどの授業は、教室で待機していれば先生が来ますが、こっちはほぼ毎時間移動教室です。また、2時間目、6時間目の後に、15分間のブレイトタイムがあります。水曜日は毎週、学校が昼までなので好きな日です！授業の中で、発表する人が多いです。みんな積極的です。宿題はたまに出ますが、あまり多くありません。先生は、静かな先生が少ない気がします。みんな、仕草が大きく、授業が退屈ではありません。

高山 瑠美 桐朋女子高等学校3年時に留学

フランス

2017年度WYS交換留学生
フランスLycée Général et Technologique Pardailhan留学

●今学期の時間割について(9月期のレポートより)

Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
8:00 ~		国語	国語	英語B	スペイン語	
9:00 ~		英語A	総合		国語	スペイン文学
10:00 ~		体育	総合	英語A	国語	地理歴史
11:00 ~		体育	英語B	地理歴史		地理歴史
12:00 ~			スペイン語		英語A	
13:00 ~					文学	
14:00 ~		哲学	地理歴史		文学	スペイン語
15:00 ~					理科	
16:00 ~						英文学

生徒数:1300人 学年:9学年から12学年 始業/終業時間:8:00~17:00
*カフェテリア、食堂、ジム、寮があります。*周辺の環境:小さな町ですが、カフェや雑貨店などが多く、休み時間や放課後に行ったりします。*到着後に購入が必要だったもの:ノート、スケジュール帳、携帯

●あなたの滞在地域について(10月期のレポートより)

私はフランスの南側、トゥールーズから1時間程の小さな町に住んでいます。今日は、朝夜は10℃以下でも寒いのですが、昼間は20℃を越え半袖でいられるくらいです。様々な人種の人々がいますが、白人が多いです。シリアなどからの移民も多いです。私のいる地域は、アクセントが強く、標準と結構違うようですが、パリの人より聞きやすく留学生にとっては良いです(笑)。今日はハロウィンがあり、友達数人とその子の妹について、近所の家にお菓子をもらいに行きました。町を歩いていると、たくさん小さい子供が仮装していて可愛かったです。日本のように怖いハロウィンではなく平和で楽しかったです。

●留学生前半半の学校生活について(1月期のレポートより)

5ヶ月が経ち、簡単な会話ができるようになりました。FLE(外国人フランス語授業)の課題で作文があったのですが、スラスラと掛けました。友達、先生、ホストファミリーにも語学力が伸びたと褒めてもらいました。留学生活がもう半分終わったかと思うと早いけれど、これからも同じ期間あると思うとまだまだ長いです。時間を大切に、ベラベラになるように頑張ります。



濱田 茜 高崎科大学付属高等学校2年時に留学

ドイツ

2016年度WYS交換留学生
ドイツErnst-Reuter-Schule 1留学

●今学期の時間割について(9月期のレポートより)

Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
7:50 ~ 8:35		GL(歴史)	Mathe(数学)	Freud Sprache	Reli(宗教)	WPK/(木工)
8:40 ~ 9:25		GL	Mathe		Reli	WPK/1
9:45 ~ 10:30		Deutsch(ドイツ)	Kunst(美術)	Deutsch	Bio(生物)	Englisch
10:35 ~ 11:20		Deutsch	Kunst	Deutsch	Bio	Englisch
11:40 ~ 12:25		Englisch(英語)	Chemie(化学)	GL		Mathe
12:30 ~ 13:15			Chemie	WPK/2(家庭科)	WPK/2	KR(学活・総合)
13:15 ~ 14:00			Freud Sprache(第2言語)			
8時間目		Sport(体育)			Physik(物理)	
9時間目		Sport			Physik	

*必修科目:木工・家庭科・第2外国以外すべてです。*学校作りは楽勝!授業で分らないところを聞く、明るい雰囲気を出したり、日本から持ってきたあめなどを皆に配っています。

●前期の留学生活を通して(12月期のレポートより)

私は、4ヶ月間ドイツ語を母国語としない人達のクラスで勉強しましたが、このドイツ語の授業は特に自分の語学力を上げるのに最適なクラスでした。逆に数学の授業は中1くらいのレベルだったので、計算問題は毎日毎日簡単なものばかりでした。文章問題は最初の頃と比べると、正解するものが増えた気がします。あと4ヶ月間を振り返ってみると、質問をしている回数が少ないと思うので、今後はもっと積極的に質問もしていきたいと思います。ホストファミリーの中では、ホストマザーとたくさん話している気がします。主に、宿題やテレビなどを見て分からない単語の意味を教えてくださいました。また、その日あった出来事などを話したりもしています。語学力を上げるためにテレビを良く見るようにしています。ファッションの番組では、Shopping Queenという番組が好きです。



猪口 真実 筑紫女学園高等学校2年生時に留学

イタリア

2015年度WYS交換留学生
イタリア Liceo Aldo Moro留学

●ミラノのエキスポに行ってきました(10月期の報告より)

私の住んでいるところはEmilia、勉強面でも生活面でもとても充実しており、元気に過ごしています。



永井 杏奈 聖霊高等学校2年時に留学

イタリア

2016年度WYS交換留学生
イタリア Liceo Leganani留学

●今学期の時間割について(9月期のレポートより)

Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
8:10 ~ 9:10		哲学	社会学	社会学	英語	宗教	ラテン語
9:10 ~ 10:00		物理	英語	社会学	物理	美術	美術
10:10 ~ 11:10		イタリア語	歴史	ラテン語	社会学	数学	イタリア語
11:10 ~ 12:10		イタリア語	科学	哲学	社会学	体育	歴史
12:20 ~ 13:10		英語	イタリア語	哲学	数学	体育	科学

*時間割が決まっています。難しいと思ったら、学校のチューターに相談すると、理解しやすい授業を増やしたりなど調整してくれます。*ちなみに、哲学など難しいイタリア語を使う授業などを英語や数学などに変えたりなど調整しています。

●今までの留学生活を振り返って(1月期のレポートより)

初めの月はイタリア語を全くと言っていいほど話せなく、授業もさっぱりでした。このままではいけないと焦っていましたので、自分から生徒に話しかけ、とても優しい友人に恵まれ、今は充実したイタリアの高校生活を過ごせていると感じています。また、学校の先生達にも恵まれ、授業後に学校に残ってイタリア語を教えてくださいました。その先生のお陰もあり、イタリア語が少しずつ上達してきたと感じています。ホストファミリーとの生活では、ホストマザーがとてもやさしく、私の歌の先生も探してくれたり、歌のコンテストを紹介してくれたり、いつも私の協力してくれてとても感謝しています。残り6か月となり、とても短いので、1日1日を大切に何事にも頑張っていこうと思います。



WYS交換留学生OG・OBからのひとこと(3)

留学期間中の WYS Student Report 及び留学後の感想文をもとにしています。

養覚 ほのり 桃山学院高等学校2年時に留学

2016年度WYS交換留学生
フィンランドMuhoksen Lukio留学

フィンランド

●ここまでの留学生生活を振り返って(12月期のレポートより)
ホストファミリーの中で一番話すのはホストマザー、ホストファミリーは海外旅行が好きで沢山の国へ行っている、そういう話をよくします。夜は毎日、30分は家族とニュースを見ます。映画は、ディズニーが多いです。フィンランドでは、フィンランド語、英語、スウェーデン語のテレビ番組があります。さて、これまでの留学生生活を通して、フィンランド語、フィンランド人の生活はもちろん、それ以上に学んだことは、家族と長い間離れて生活をし、今まで母にどれだけの事をしてもらって、どれだけ甘えていたかが分かりました。あと、自分の長所、短所がすぐ分かるようになりました。フィンランドで生活をして自分の意見を今までより言えるようになったと思います。来年は今年以上に、積極的にフィンランドと会話し、もっとフィンランド語、フィンランド人を知りたいと思っています!

●フィンランドの食べ物とフィンランド語について(11月期の課題より)
フィンランドの主食はポテトが多く、朝はパンやコーンフレークも食べます。サーモン、ミートボールは本当においしいです。ベリー類をよく食べます。夏にとったベリーをジャムやシロップにして冬のビタミンにします。フィンランド語はローマ字読みなので、日本人にとって発音しやすい言語だと思いますが、単語、動詞の変化がすごく多いので難しいです。前置詞と未来形はありません。Kiitos (ありがとう)!



久保田 伶菜 大阪府立生野高等学校2年時に留学

2017年度WYS交換留学生
スウェーデンJenny Nyströmskolan留学

スウェーデン

●今学期の時間割について(8月期のレポートより)

Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1		---	ホームルーム	数学	写真	芸術的コミュニケーション
2		芸術的コミュニケーション	美術	体育	スウェーデン語	芸術的コミュニケーション
3		芸術的コミュニケーション	英語	英語	数学	スウェーデン語
4		数学	歴史		体育	美術
5		美術			歴史	

- *生徒数:1000人 学年:10学年~12学年 学期制:2学期制
- *必修科目:スウェーデン語・数学・英語
- *始業/就業時間:8時10分~16時40分(日によって変わる)
- *周辺の環境:都会でも田舎でもない。少し行けば、ショッピングモールと森がある。隣にも一つ学校とスポーツセンターがある。

●授業の雰囲気やユニークな授業について(10月期・11月期のレポートより)
学校の雰囲気は、とても自由な感じです。トイレや電話で、黙って教室を出ていくのが普通です。授業中にイヤホンで音楽を聞くのも、個人作業の時は大音量で音楽をかけるのも許されています。日本では、先生の方が高い立場にあると私は感じますが、ここでは生徒の態度が大きいと思います。ユニークな授業では、Estetisk Kommunikationが週に一度あります。毎回違うことをします。体を作って感情を表したり、マッサージをしたり、サーカスを見たりします。先生はいつもリラックスして出来るように心がけてくれます。なので、この授業は教室ではなく、ダンスホールみたいなどころです。

- 日本から持ってきて良かったもの
- ・フリクションのボールペン
 - ・日本のお菓子(じゃがりこ・ハッピーターンが人気でした)
 - ・折り紙
 - ・日本文化を紹介している絵本
- 必要なかったもの
- ・ヒートデック(必要だけどそんなに大量にはいらないうです)



金澤 花 捜真女学校・高等部2年時に留学

2015年度WYS交換留学生
フィンランドLohjan Yhteislyseon lukio留学

フィンランド

1 学期	Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
8/12 10/2	8:10 ~ 9:25		-	英語	-	音楽	-
	9:50 ~ 11:05		体育	数学	英語	体育	音楽
	不定期		美術	体育	数学	英語	美術
	13:20 ~ 14:35		音楽	-	美術	-	数学
2 学期	Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
10/5 12/2	8:10 ~ 9:25		-	美術	-	-	音楽
	9:50 ~ 11:05		数学	英語	美術	数学	-
	11:40 ~ 13:05		文理	数学	英語	美術	物理
	13:20 ~ 14:35		-	音楽	物理	-	英語
	14:25 ~ 16:00		-	-	音楽	-	-

●留学生生活について(10月期のレポートより)
英語の授業は、文法の勉強をみっちりやるというよりは、話を読んだり、会話文を読んで練習したり時間が多いです。特に宿題が多いということはありません。先生方は対等な感じの方が多く、留学生にもとても親切に下さいます。そして、何よりもどの教科の先生も、英語を話せます!評価は、コメントを書くという方法も多いようです。



三木 友里 福岡県立光陵高等学校3年時に留学

2016年度WYS交換留学生
スウェーデンBerga Gymnasiet留学

スウェーデン

●家庭生活について(11月期のレポートより)
私のホストファミリーは、ママ、パパ、6歳の双子姉妹の4人、それにタイから来た留学生と私を合わせて6人です。パパは、変顔をよくします。双子を叱る時はこわいですが、その後は必ず「好きだよ」言って抱きしめます。ママは、おしゃべりが大好きで、誰かと会った、その相手は必ず聞き手側になってしまいます。夜ごはんの時も話が止まらなくなると、パパに「食べて」と怒られます。料理好きで、毎日作るのに1~2時間かけています(たまに3時間)!ママは、土・日に車でお出かけに連れて行ってくれます。ホストファミリーとの週末についてです。草スキーで遊ぶ、友人家族を読んでパーティーをする、親戚を呼んでパーティーをする、友達とショッピングに行く、家庭でクリスマスマーケットに行く、など本当に楽しい時間を過ごしています。双子は、いつも「Yurii! Welcome!」と言い、私を連れ出し、一緒に遊んでという目つきします。家族と一緒に居る時間がとても大好きです!!



園岡 さくら 千葉県立長生高等学校2年時に留学

2017年度WYS交換留学生
ノルウェーGausdal Videregaende Skole留学

ノルウェー

●今までの留学生生活を振り返って(3月期の報告より)

楽しかったことについて これまでで楽しかったことは、ノルウェーで体験しているいろいろなアクティビティーです。日本の生活と異なり、スキーやスノーボードなど冬スポーツを楽しんでいます。ノルウェー人は外に出てスポーツをするのが大好きなので、休日は基本的に外に出ます。インドア派だった私も沢山の新しい経験をしています。そしてノルウェー人は細かいことは気にしない、とてもマイペースな人達です。学校に部活がなく、休日は好きな時間に起きて、映画を見たり、料理をしたり、家族の人達と話をしたりするなど、とても充実した休日生活を送っています。マイペースな私にはうれしい限りです。留学前は、ノルウェーの人は誰も日本のことなんて知らないだろうと思っていたのですが、日本の車が人気だったり、高校生はアニメを知っていたり、日本に興味を持ってくれる人も多かったです。放課後や、休日に日本語とノルウェー語を教えあったりします。また、ノルウェーには海外から移ってきた人達が多く暮らしていることもあり、いろいろな言葉や文化が学べます。これも日本ではなかなか経験できないことだと思います。

大変だったことについて やはり語学(言葉)です。最初は、喋ることも、聴いて理解することも出来なかった、授業や休み時間に友達と話していることが分からず本当に大変でした。誤解が生まれたり、何をすべきか分からなかったりもしました。大事なことは、疑問や分からないことがあれば、質問をすることです。躊躇して聞かないと、後でもっと大きな問題に発展していきます。沢山の質問をするのは友達に悪いかななんて思ってしまうのですが、だからこそ自分で勉強してもっと自分で理解出来るようにしようと思えます。そして、宿題も大変です。レポート作成が多く、文章を作るのが大変です。日本語で考えて、英語にしたらノルウェー語に訳していきます。この方法で長い文章を作るのは、本当に時間がかかります。ホストファミリーに手伝ってもらって、先生に相談したりしています。

残りの留学生活について 残り約3ヶ月、ホストファミリー変更もあったので、あたらしい家族と仲良くなりたいです。周囲の人達と沢山の会話があったので、ノルウェー語も頑張りたいです。行ってみたいところに、ホストファミリーや友達と一緒に制覇していくのも楽しみです。残り少ない時間を大切に、後悔しないよう楽しく過ごせるようにしたいです。

